

ひょうご環境保全創造活動助成 活動報告書

団体名	加古川の里山・ギフチョウ・ネット		
団体の所在地	加古川市志方町	代表者名	竹内 隆

1. 事業名	兵庫県に生息する絶滅危惧に選定されたチョウ 5 種の保全活動		
2. 実施期間	平成 28 年(2016 年)4 月 1 日－平成 29 年(2017 年)3 月 12 日		
3. 主な実施場所	加古川市、赤穂市、養父市ハチ高原、		
4. 活動形態	・普及啓発活動 ・実践活動 ・調査活動		
5. 活動内容・結果 (参加者、階層・人数等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4 月：ギフチョウの観察会 4/9 会員 10 一般参加 3 名; 4/16 会員 9, 一般参加 9 名 ・ 4 月：シルビアシジミの生息・吸蜜植物調査(会員 4 名) ・ 5 月：ギフチョウ産卵・幼虫調査(会員 8 名、小中高各 1 名) ・ 5 月：加古川市主催の「チョウ観察会」を支援(会員 6、加古川市職員 4 名、「ひょうご森の倶楽部」行常チーム 6 名、一般 15 名) ・ 6 月：キマダラルリツバメ生息調査(会員 6 名) ・ 6-7 月：ヒメヒカゲ生息調査(会員 9 名)、クロシジミ調査(会員 4 名) ・ 7 月：ハチ高原でウスイロヒョウモンモドキの生息調査とチョウ観察会の開催を支援(会員 6 名、一般参加 58 名) ・ 8 月：「青少年のための科学の祭典」にブース出展(会員 7 名、加古川市職員 4 名、幼児、小・中・高校生、一般参加約 300 名) 「ひょうごの生物多様性保全プロジェクト団体活動発表会」で竹内代表が発表 ・ 9 月：ギフチョウ生息地の環境整備(会員 7) ・ 11 月：ギフチョウ生息地の環境整備(会員 11) ・ 12 月：ヒメヒカゲ生息地の環境整備(会員 6 名) ・ 1 月：兵庫昆虫同好会誌「きべりはむし」にシルビアシジミに関する論文 1 報を発表 		
6. 成果・反響・ 反省点等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生息地雑木林一帯の環境保全活動を継続的に実施している結果として、2010-11 年のギフチョウ激減期をしのいで、安定的な発生が復活してきている ・ チョウ観察会を協賛した「ひょうご森の倶楽部」との新たな交流がスタートできた ・ 「青少年のための科学の祭典」で若い世代への自然保護の大切さを継続啓発 ブース訪問の高校生 1 名がギフチョウ・ネットの新会員となってくれた ・ ハチ高原で、シカ害対策の防護柵設置の効果が期待できる見込みを得たが、依然として絶滅の懸念が残る 		
7. 成果物	<ul style="list-style-type: none"> ・ 島崎正美, 兵庫県におけるシルビアシジミの吸蜜植物. きべりはむし, 39 (1): 17-18 (2017) ・ 凶鑑「加古川のチョウ」改訂第 3 版を発行(「トヨタ環境活動助成プログラム」の助成金を利用) ・ 前田和彦, ツマグロキチョウの越冬場所: 月刊むし, No.555, p.62 (2017) 		
8. 活動写真 説明	<div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="flex: 1;">   </div> <div style="flex: 2; padding-left: 10px;"> <p>ギフチョウ生息地で実施した環境整備作業(左上) ウスイロヒョウモンモドキの絶滅回避を確認(左下) 「青少年のための科学の祭典」にブース出展(右下)</p>  </div> </div>		